

令和3年度

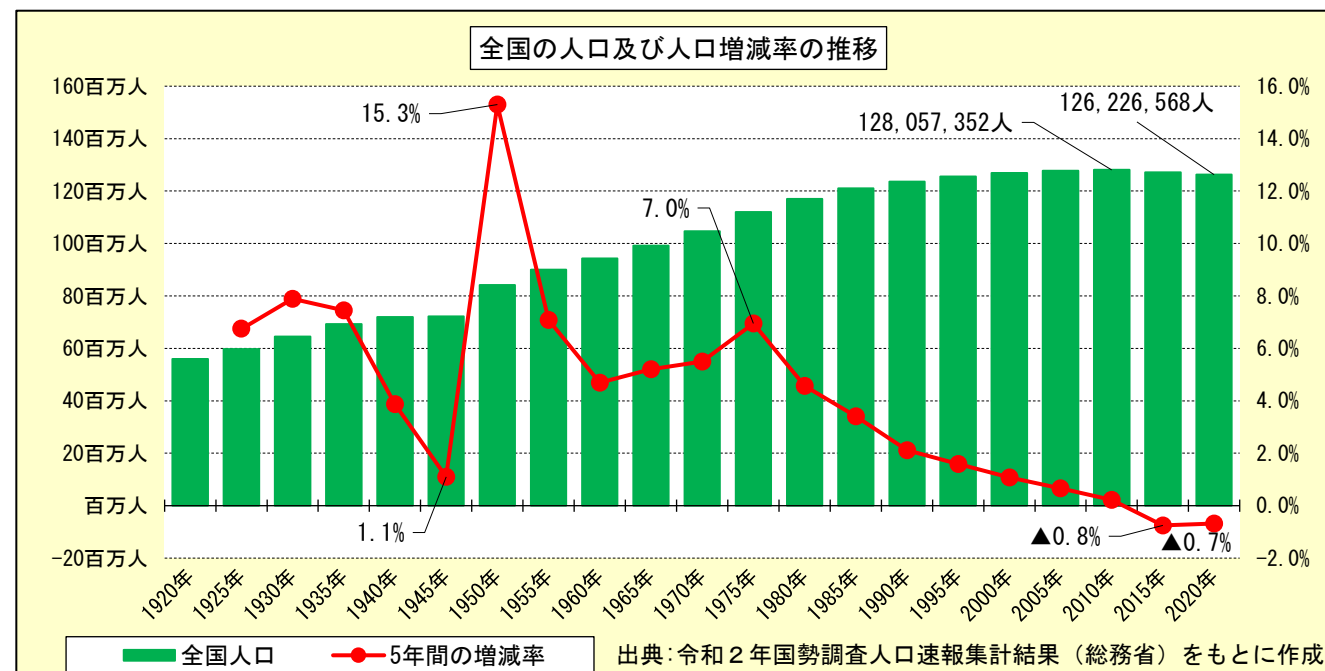
第2回四万十市まち・ひと・しごと創生会議



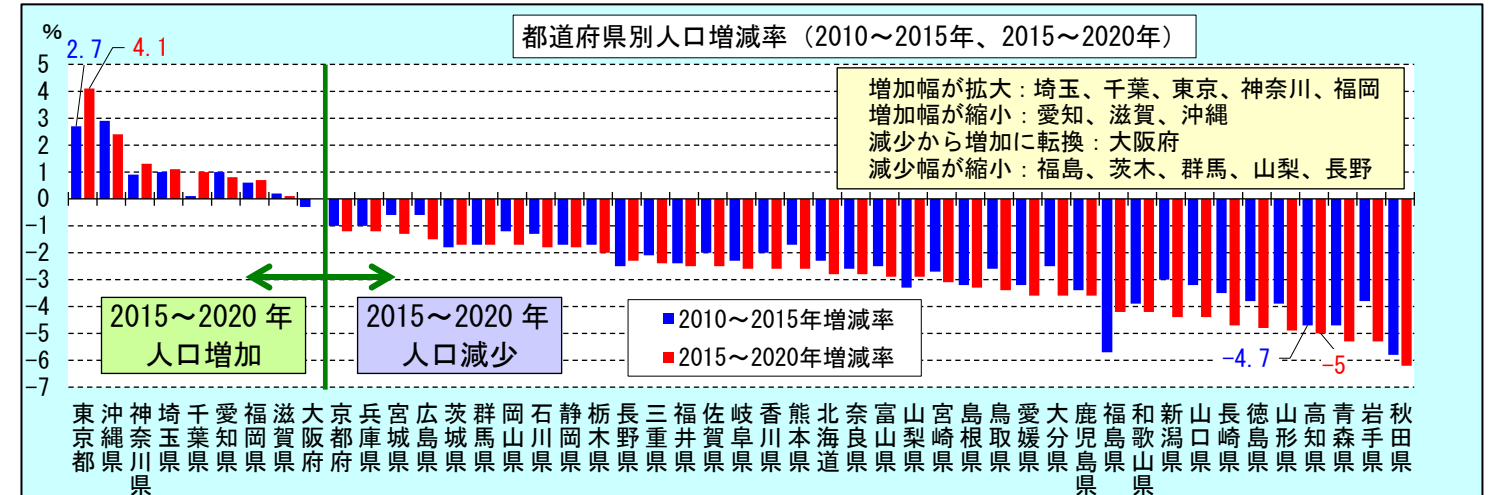
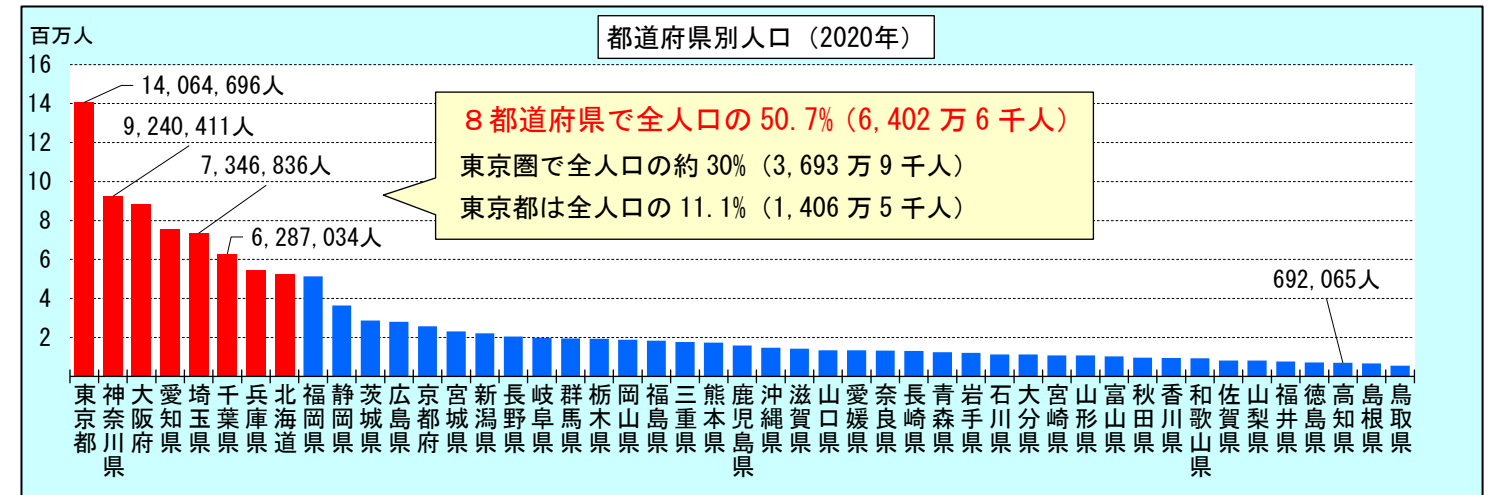
- 1 四万十市の人口状況等
- 2 四万十市の産業状況等
- 3 新型コロナウイルス感染症対策
- 4 令和3年度上半期の主な取り組み
- 5 第2期総合戦略の改訂（案）

1 四万十市の人口等

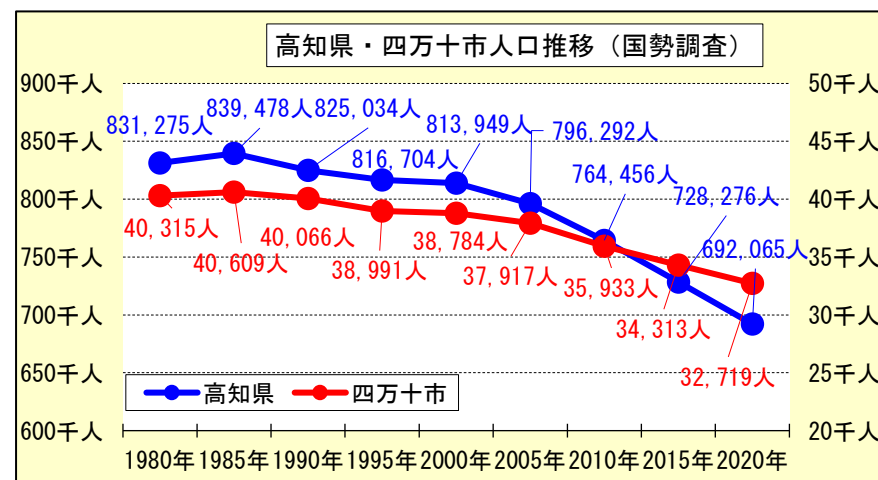
1 日本の人口（国勢調査速報値）について



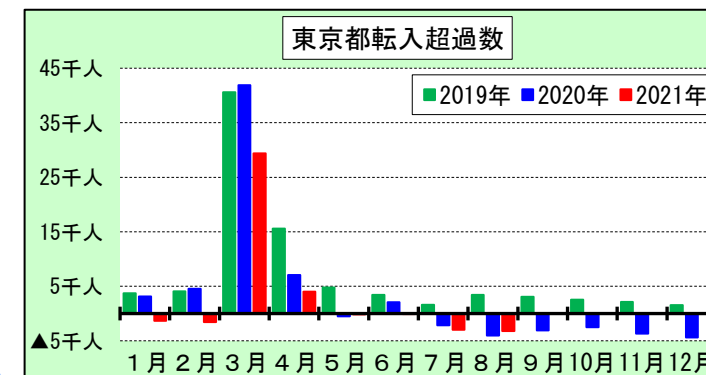
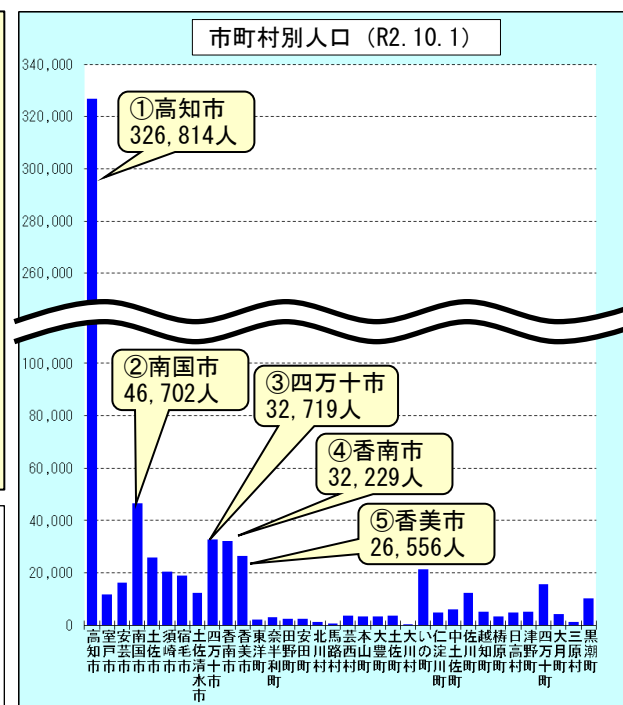
- 日本の人口は1億2,622万7千人(R2.10.1現在)
- 2015年と比較して86万8千人減少(0.7%減、年平均0.14%減)
- 1940～1945年は戦争により人口増減率が減少
- 1945～1950年は「第1次ベビーブーム」、1970～1975年は「第2次ベビーブーム」
- 人口増減加率は2010～2015年に調査開始後初めて減少となる
- 2020年の世界の人口は77億9,500万千人(国際連合の年央推計)
- 上位は、中国14億3,900万人、インド13億8,000万人、アメリカ3億3,100万人
- 日本は11番目。上位20か国で2015年～2020年の人口増減率が減少となっているのは日本のみ



2 高知県・四万十市の人口（国勢調査速報値）について

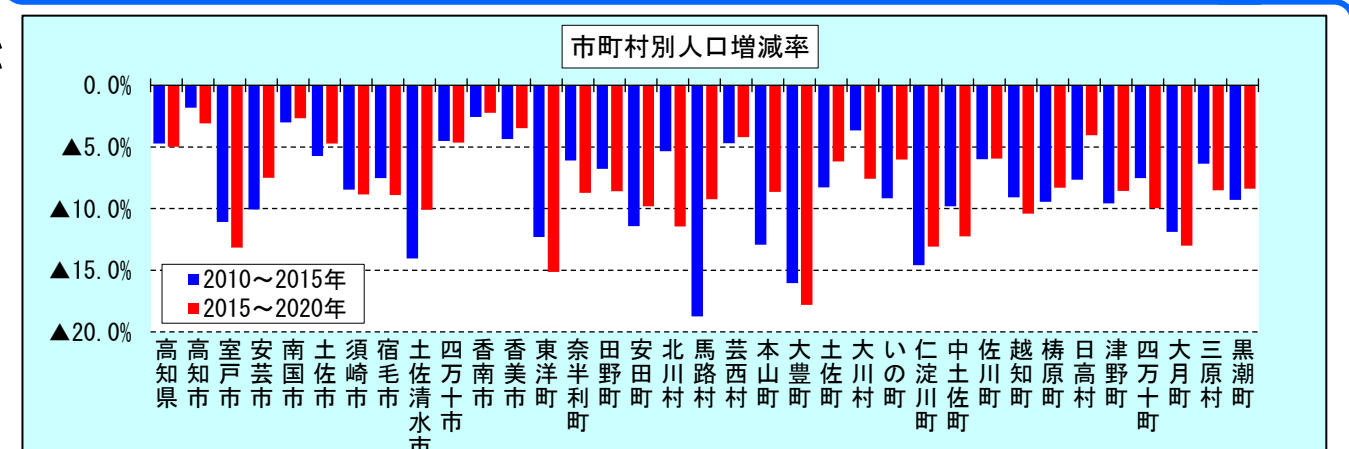


- 高知県の人口は69万2,065人（R2.10.1現在）
- 2015年と比較して3万6,211人減少（5.0%減）
- 高知県は1985～1990年に人口減少傾向となる
- 県内34市町村全てで人口減少
- 県全体の高知市の人口割合は47.2%（2015年比0.9ポイント増）

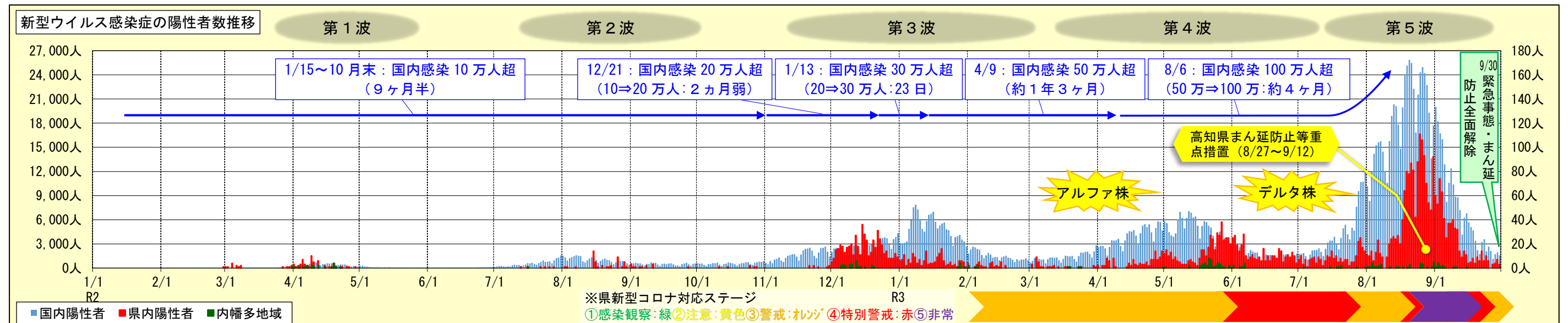


	2019 年①	2020 年②	前年比較 ②-①
東京圏	145,576 人	98,005 人	↓47,571 人
名古屋圏	▲11,515 人	▲12,275 人	↓760 人
大阪圏	▲3,857 人	▲1,118 人	↑2,739 人

← ↑ 出典：住民基本台帳人口移動報告（総務省）
（日本人移動者）

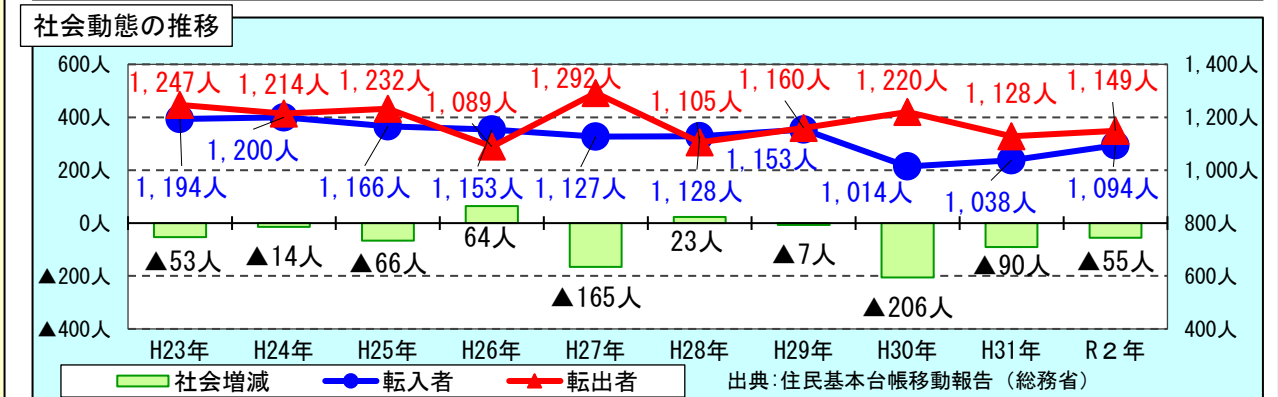
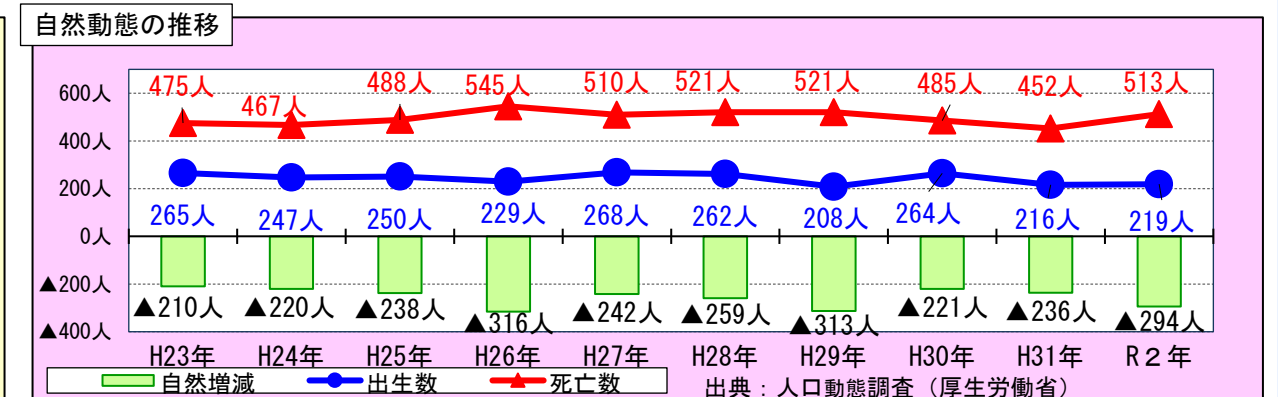
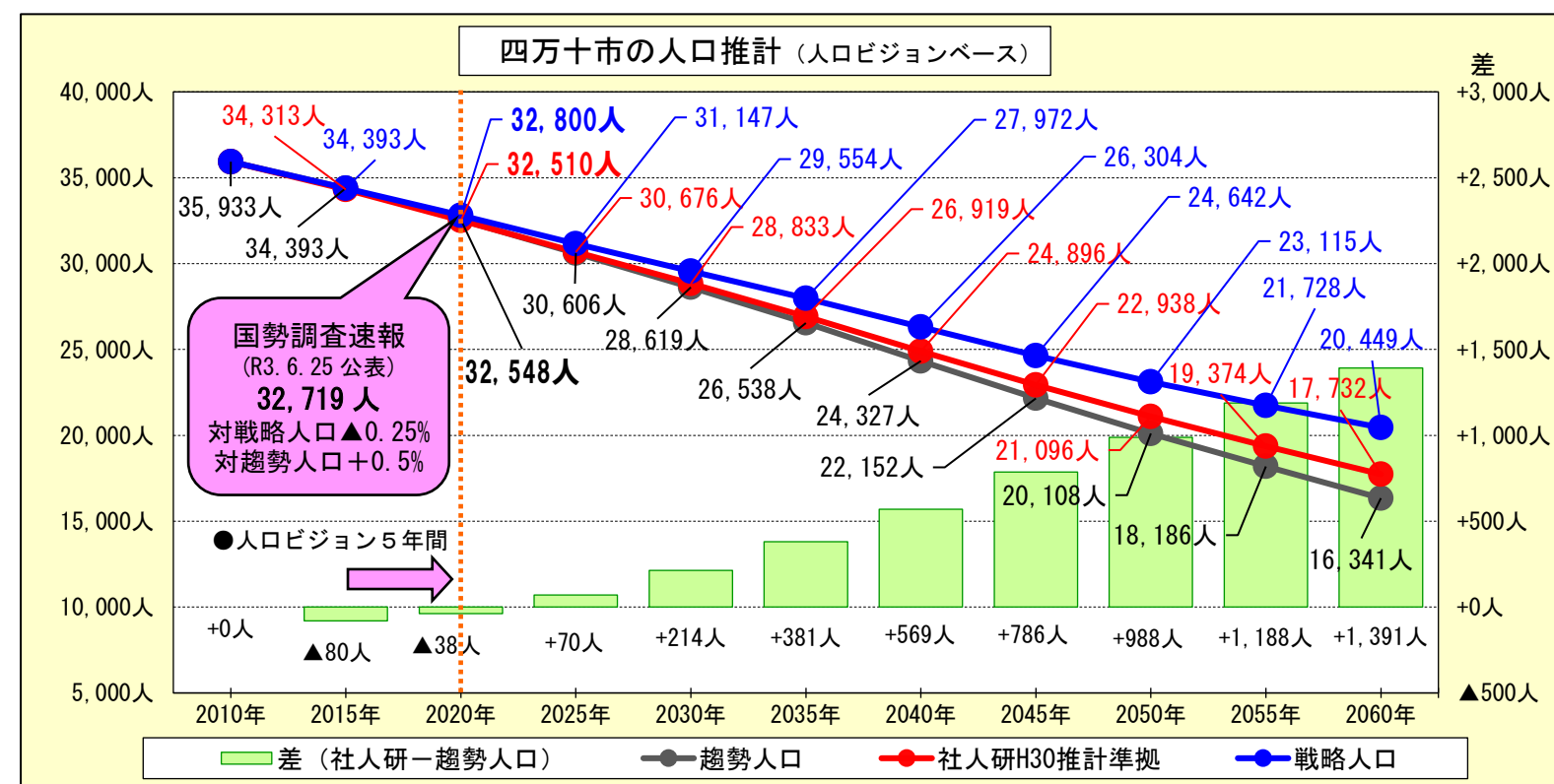


3 新型コロナウイルス感染症の状況



出典: 国内陽性者は厚生労働省「オープンデータ」の数値、県内及び幡多地域陽性者は高知県の発表数値

4 四万十市の人口移動等



四万十市への移住状況

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R 2	R 3 (9月末)
移住支援登録	66組	107組	139組	192組	205組	200組	194組	112組	94組
移住組数 (人数)	10組 (17人)	6組 (10人)	25組 (54人)	31組 (47人)	29組 (54人)	31組 (49人)	29組 (44人)	28組 (47人)	14組 (27人)

※移住支援登録 (NPO 法人四万十市への移住を支援する会) をした方の移住実績

四万十市への転入 (地域等)

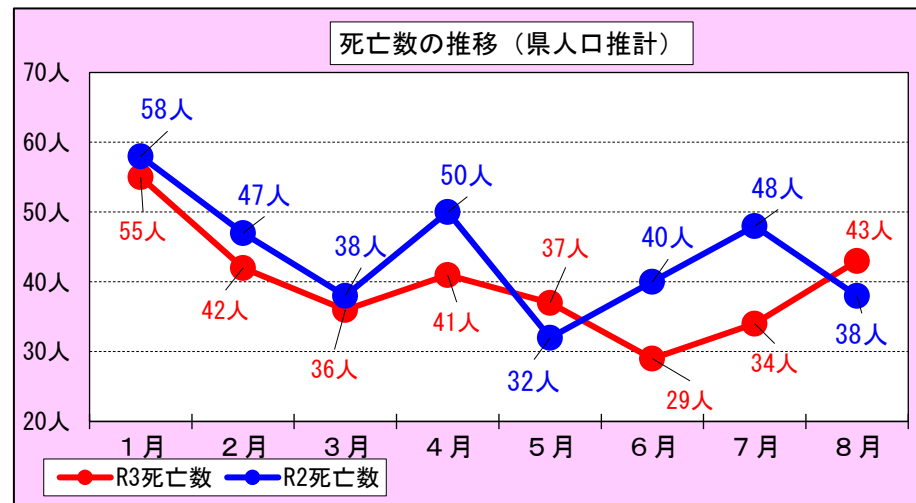
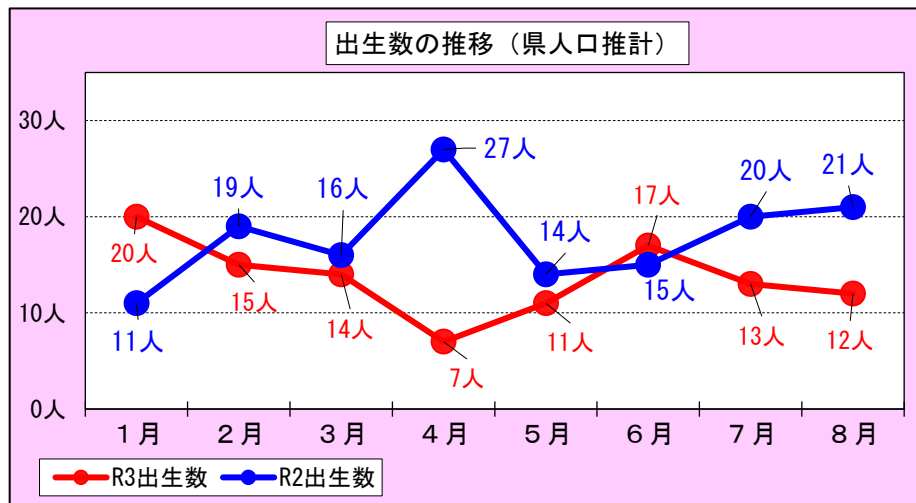
	2019年	2020年	前年比
東京圏	76人	80人	4人
名古屋圏	17人	35人	18人
大阪圏	88人	101人	13人
四国3県	105人	129人	24人
高知市	242人	231人	▲11人

出典: 住民基本台帳人口移動報告 (総務省)

四万十市からの転出 (地域等)

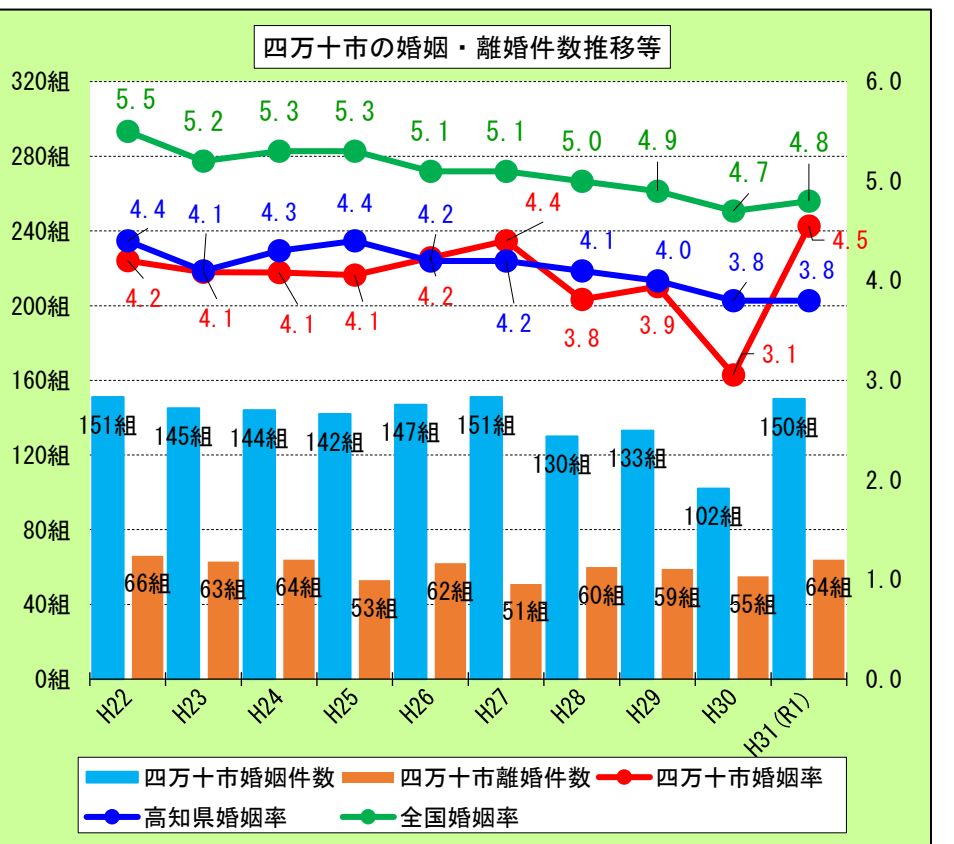
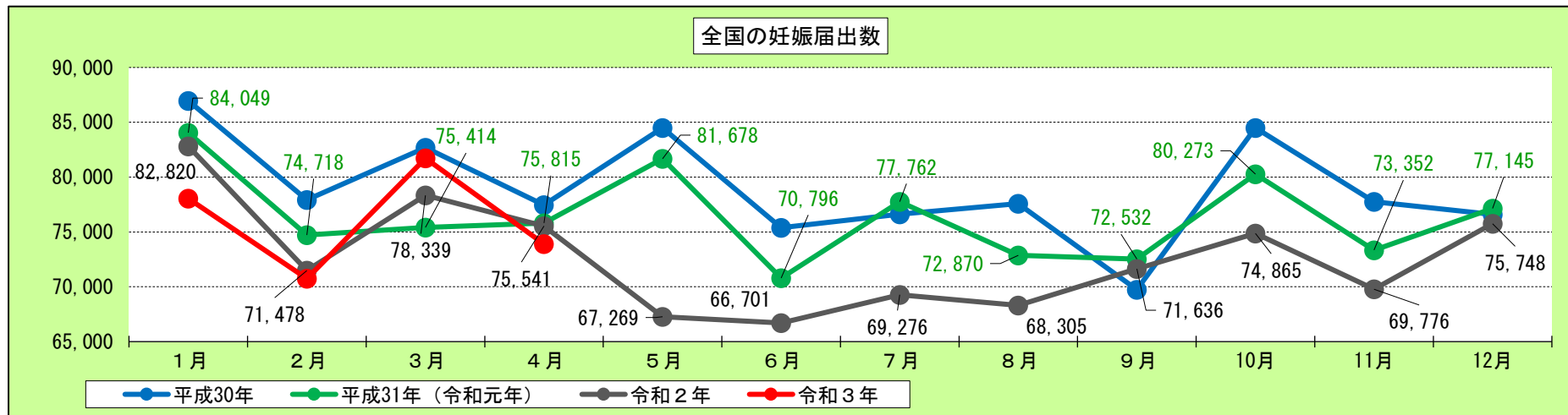
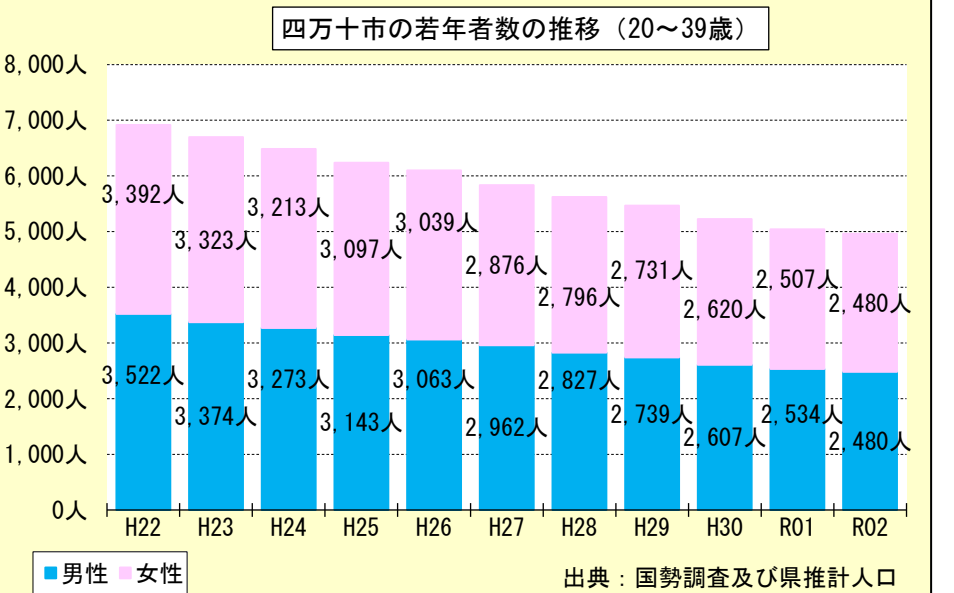
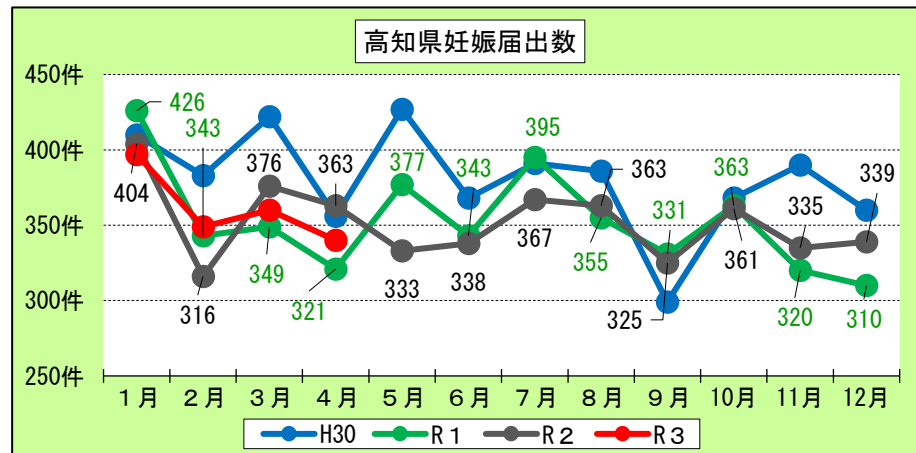
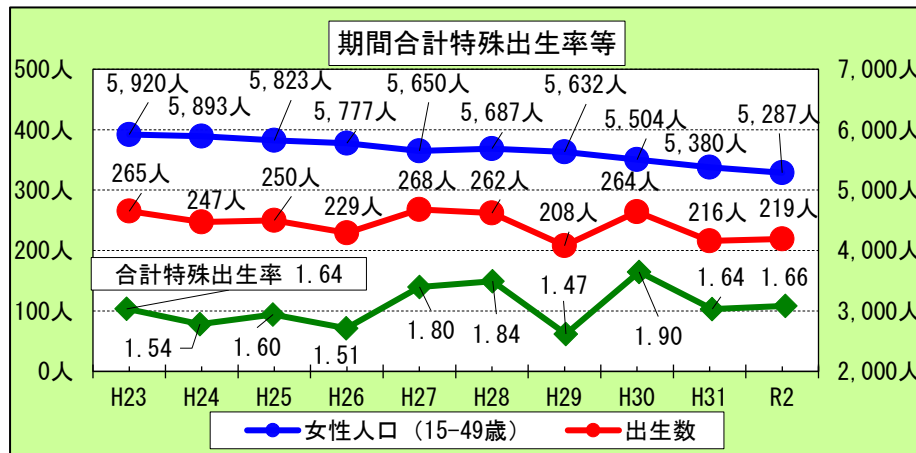
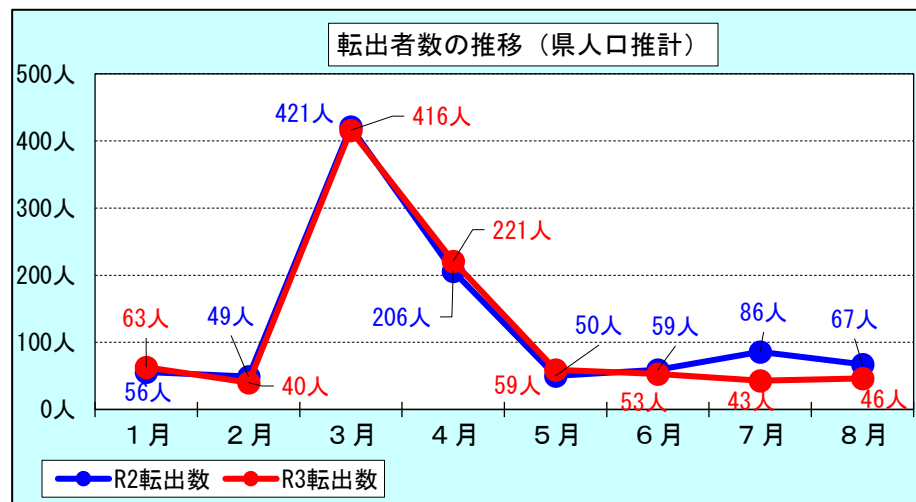
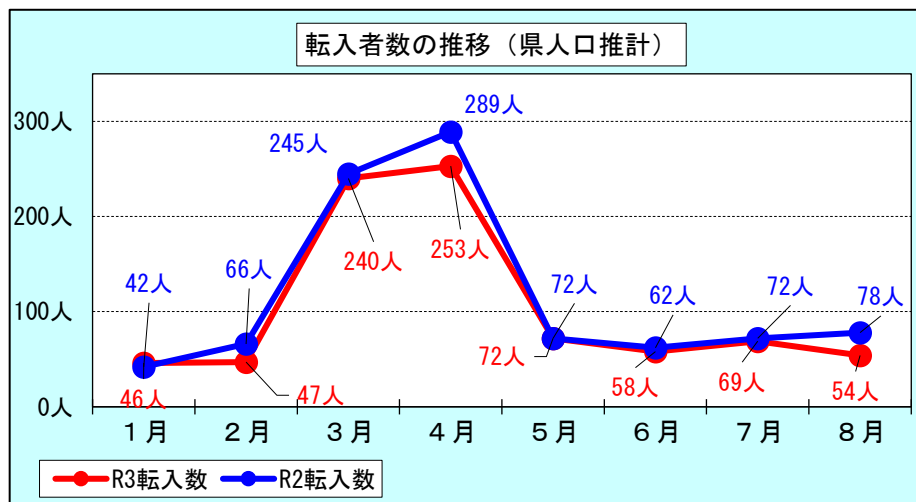
	2019年	2020年	前年比
東京圏	93人	88人	▲5人
名古屋圏	24人	9人	▲15人
大阪圏	117人	106人	▲11人
四国3県	125人	159人	34人
高知市	323人	331人	8人

出典: 住民基本台帳人口移動報告 (総務省)



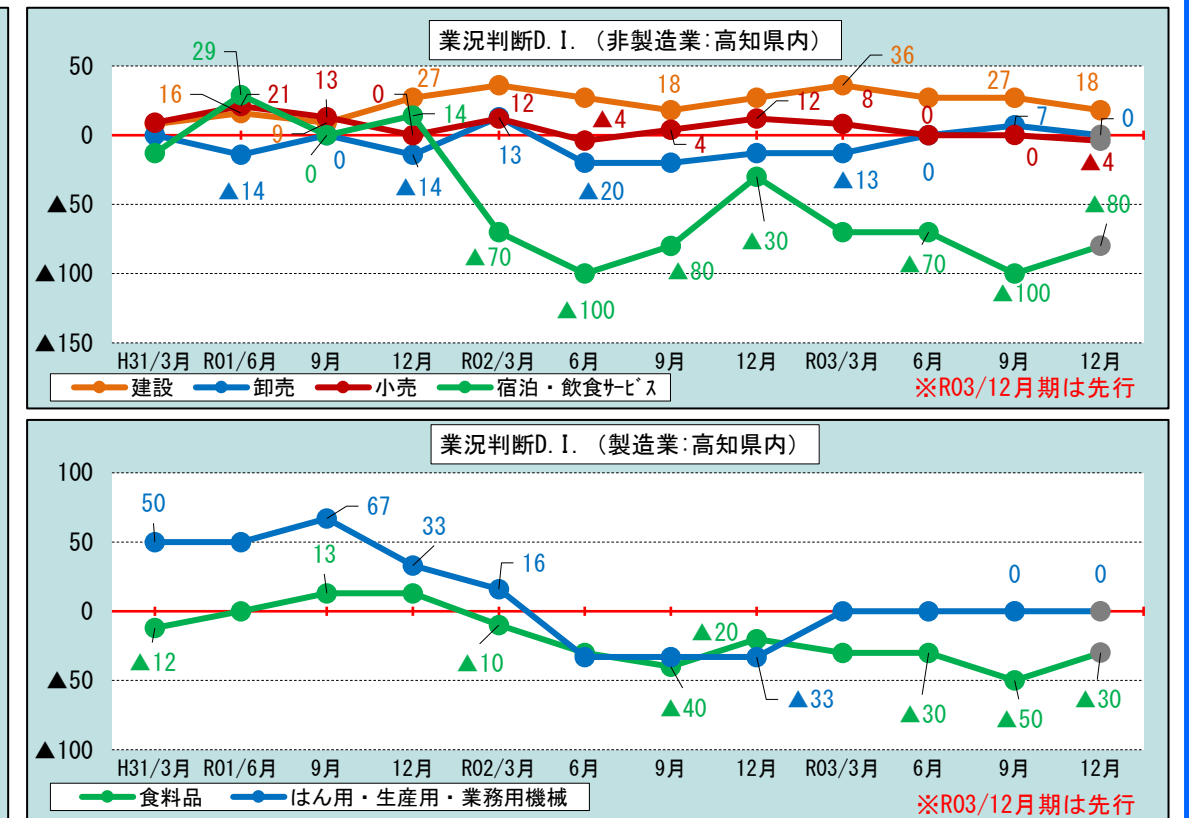
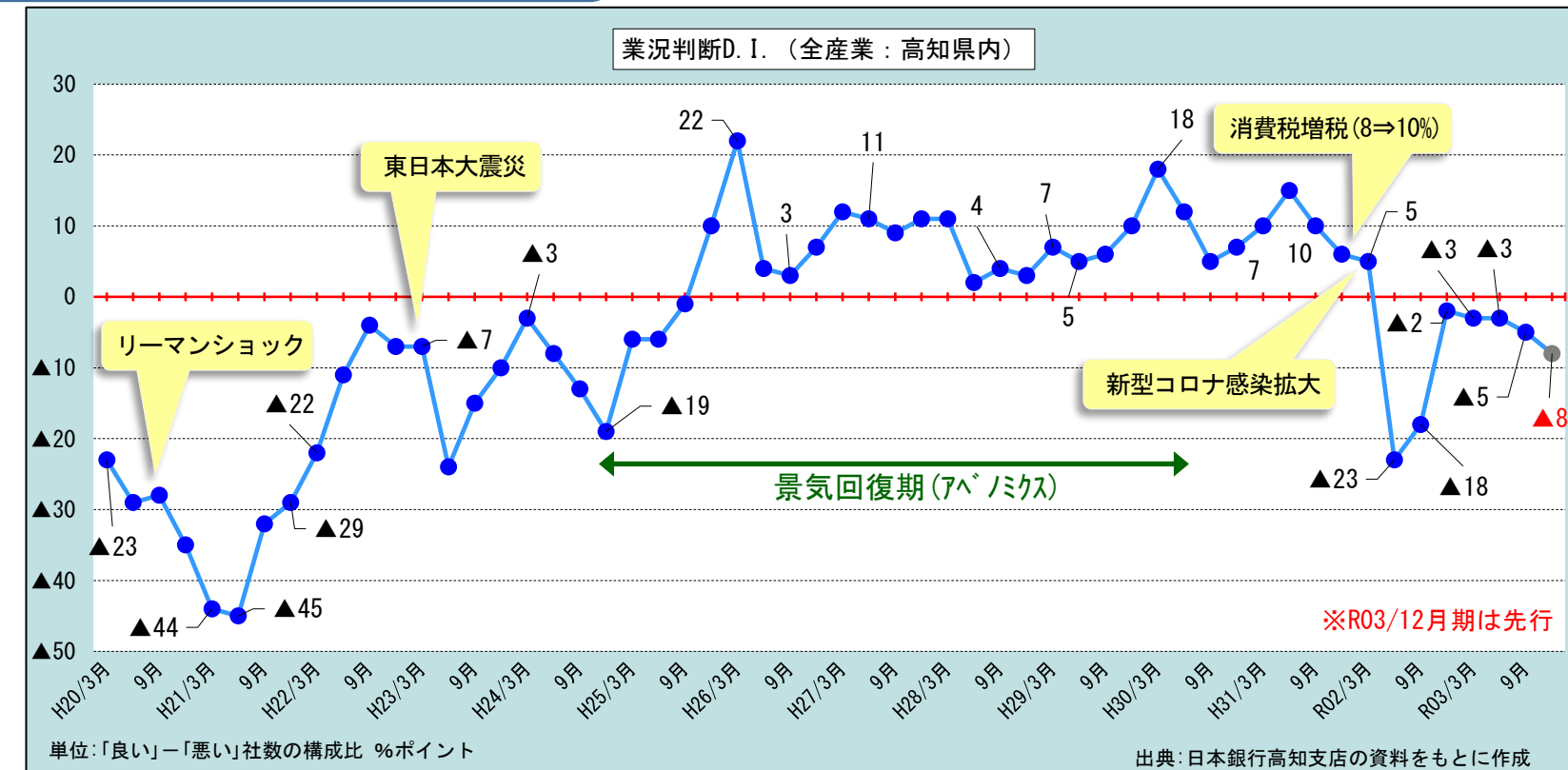
自然動態・社会動態 1～8月の合計（県人口推計）

R3 出生数	109 人	R3 死亡数	317 人	R3 自然動態	▲208 人
R2 出生数	143 人	R2 死亡数	351 人	R2 自然動態	▲208 人
R1 出生数	138 人	R1 死亡数	317 人	R1 自然動態	▲179 人
R3 転入数	839 人	R3 転出数	941 人	R3 社会動態	▲102 人
R2 転入数	926 人	R2 転出数	994 人	R2 社会動態	▲68 人
R1 転入数	863 人	R1 転出数	997 人	R1 社会動態	▲134 人

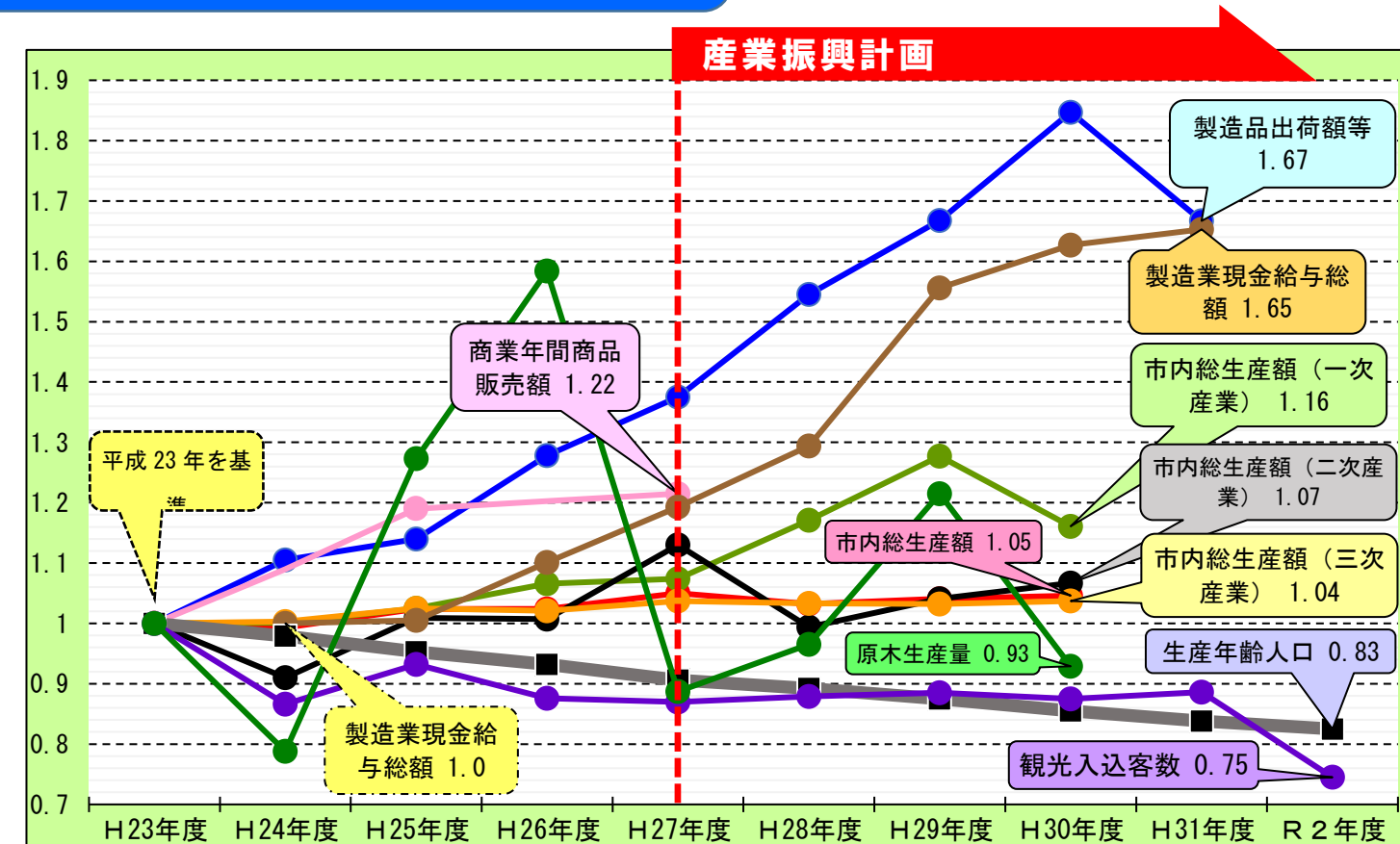


2 四万十市の産業の状況等

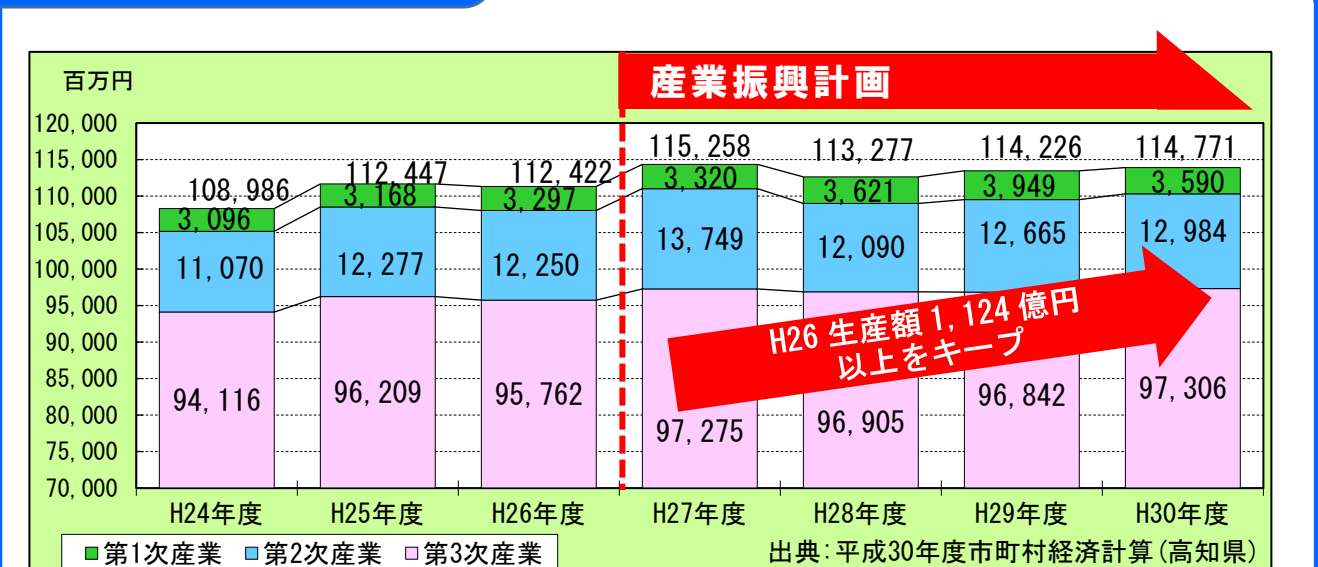
1 高知県内の業況判断



2 四万十市の生産・販売・出荷額の状況

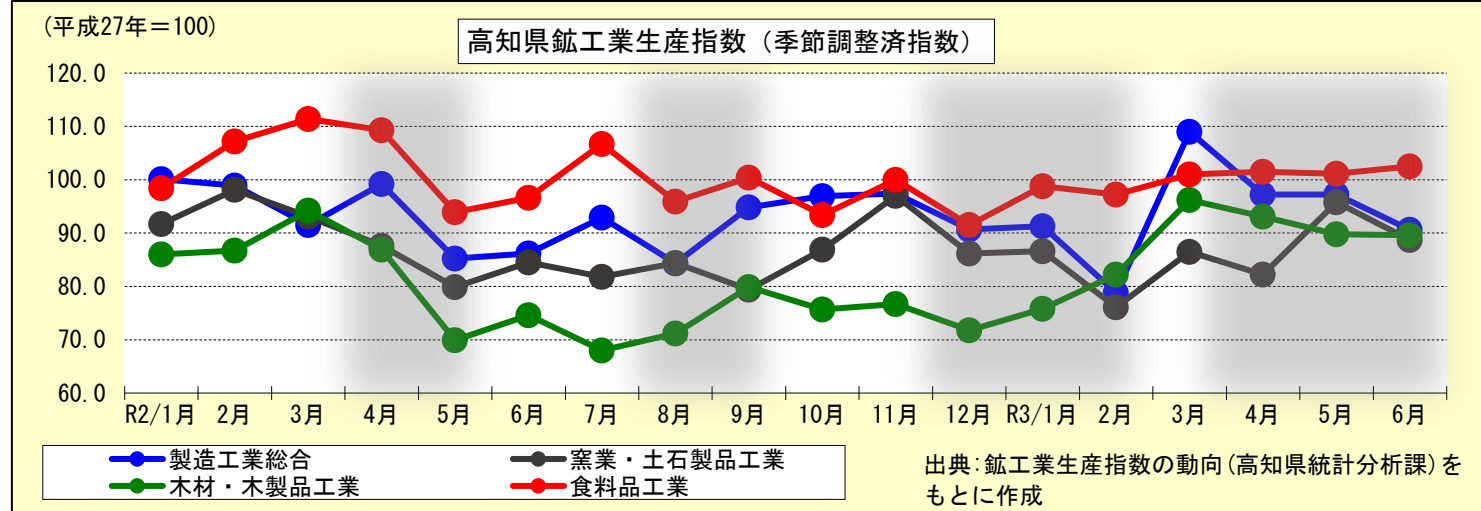


3 市内総生産額

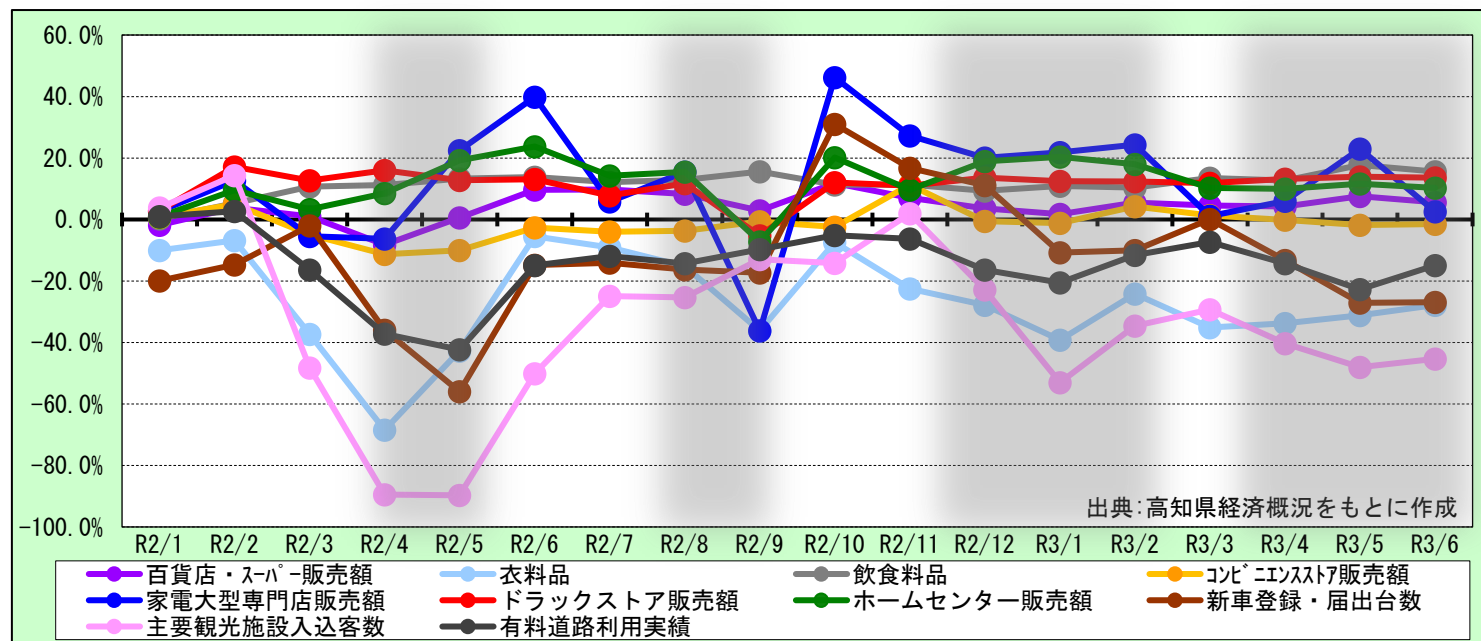


	平成29年度	平成30年度
県内総生産額	2兆4,137億円 (+0.5%)	2兆4,190億円 (+0.2%)
総生産額が1,000億円を超える市町村	①高知市 1兆1,964億円 (▲0.5%) (※県内総生産の49.6%) ②南国市 1,919億円 (▲2.6%) ③四万十市 1,142億円 (+0.8%)	①高知市 1兆1,898億円 (▲0.6%) (※県内総生産の49.2%) ②南国市 1,986億円 (+3.5%) ③四万十市 1,148億円 (+0.5%)

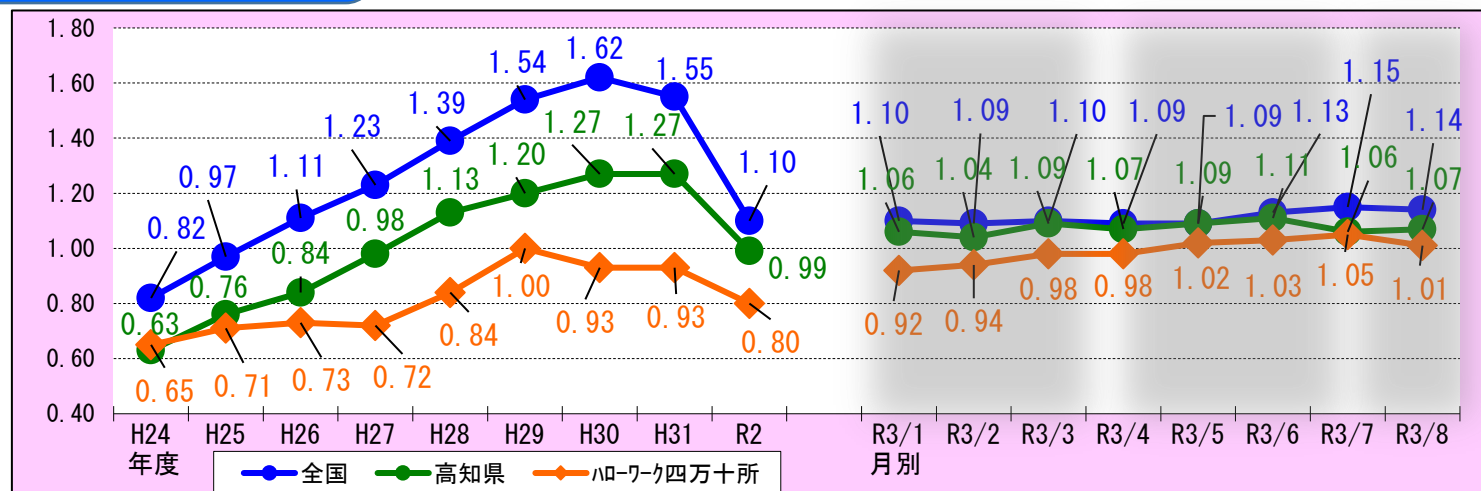
4 鉱工業統計指数



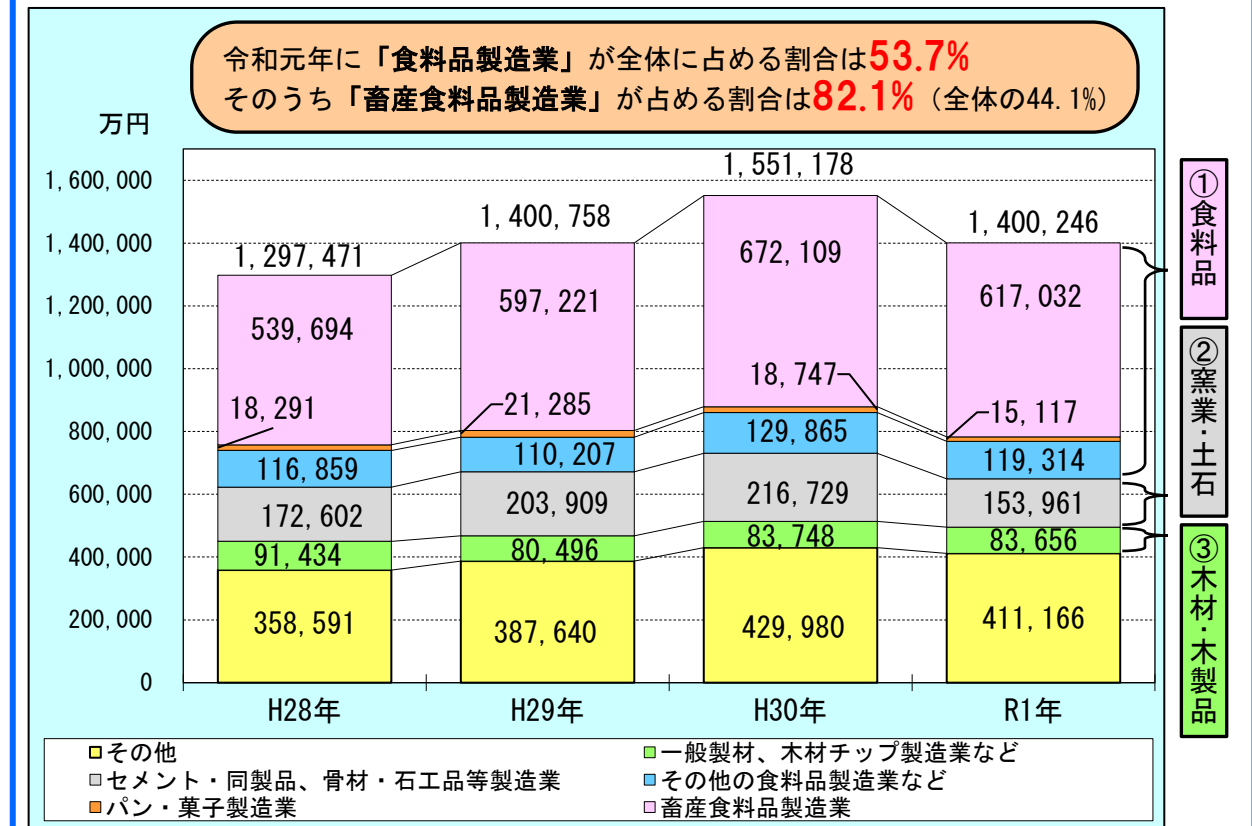
5 県内の経済概況（消費：令和元年同月比）



6 有効求人倍率



7 四万十市製造品出荷額等上位3区分（中分類）



産業分類（中・小）	H28年	H29年	H30年	R1年	前年比 (R1/H30)
09食料品製造業	674,844 (21)	728,713 (24)	820,721 (22)	751,463 (17)	91.6%
091畜産食料品製造業	539,694 (4)	597,221 (6)	672,109 (6)	617,032 (6)	91.8%
092水産食料品製造業	X (3)	X (3)	83,118 (3)	86,284 (3)	103.8%
093野菜缶詰・果実缶詰・農産 保存食料品製造業	— (—)	X (1)	X (1)	— (—)	—
094調味料製造業	X (2)	14,570 (4)	X (2)	X (2)	X
097パン・菓子製造業	18,291 (6)	21,285 (6)	18,747 (5)	15,117 (3)	80.6%
099その他の食料品製造業	35,523 (6)	26,041 (4)	33,301 (5)	21,214 (3)	63.7%
21窯業・土石製品製造業	172,602 (5)	203,909 (5)	216,729 (5)	153,961 (5)	71.0%
212セメント・同製品製造業	X (3)	X (3)	X (3)	X (3)	X
218骨材・石工品等製造業	X (2)	X (2)	X (2)	X (2)	X
12木材・木製品製造業	91,434 (5)	80,496 (4)	83,748 (4)	83,656 (5)	99.9%
121製材業、木製品製造業	91,434 (5)	80,496 (4)	83,748 (4)	83,656 (5)	99.9%
その他	358,591 (18)	387,640 (20)	429,980 (18)	411,166 (19)	95.6%
合計	1,297,471 (49)	1,400,758 (53)	1,551,178 (49)	1,400,246 (46)	90.3%

※カッコ内の数値は事業所数
※記号の「—」は該当数値無し、「X」は秘匿とするもの

3 四万十市の新型コロナウイルス感染症対策

四万十市における新型コロナウイルス感染症対策の概要 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連)

令和3年度の主な活用事業〔9/29 時点:予定含〕

事業費：4 億 6,160 万円・・・うち臨時交付金活用額：配分予定3 億 1,427 万円

緊急経済対策・・・事業費4 億 4,359 万円

I 感染防止対策と医療体制の整備及び治療薬の開発・・・事業費1 億 3,200 万円

- ・観光施設感染防止対策（トイレ洋式化、空調整備など）〔4,466〕
- ・保育、学校、スポーツ施設感染防止対策（感染防止用資材、施設改修など）〔5,962〕追加予定含む
- ・防災、消防施設感染防止対策（トイレ洋式化、空調整備改修など）〔638〕追加予定含む
- ・公式 HP リニューアル（情報発信体制整備）〔1,667〕

など

II 雇用の維持と事業の継続・・・事業費2 億 971 万円

- ・地域産品販売促進事業〔1,000〕
- ・修学旅行キャンセル料支援事業〔760〕
- ・四万十市営業時間短縮要請対応雇用継続応援金〔3,800〕6月
- ・成人式検査費助成〔132〕追加予定含む
- ・あんしん会食推進の店認証制度支援〔2,000〕予定
- ・四万十市新事業開発支援〔2,000〕予定
- ・中小企業振興資金（感染症対策特別分）〔100〕予定
- ・新型コロナウイルス対応基金造成〔3,160〕予定

など

III 次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復・・・事業費6,999 万円

- ・まちなかにぎわい創出事業〔1,500〕
- ・屋外観光施設整備事業〔2,070〕
- ・農業 PR 動画制作費〔180〕6月
- ・はた旅クーポン事業Ⅱ〔2,750〕9月
- ・しまんと市民祭花火大会支援〔500〕9月

IV 強靱な経済構造の構築・・・事業費3,189 万円

- ・行政デジタル化推進（行政手続きオンライン化計画策定）〔2,541〕
- ・Web 会議環境整備〔473〕
- ・地域子育て支援センター ICT 化事業〔100〕6月

など

総合経済対策・・・事業費1,801 万円

I 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策

- ・新型コロナウイルスワクチン接種協力金〔1,000〕6月追加分有

II ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現

- ・住民票、印鑑証明コンビニ交付導入〔801〕6月

※6月は6月補正分
※9月は9月補正分
※端数処理により合計が合わない
場合がある

R2～R3 総合戦略に関連する主な対策

〔基本目標1〕地産外商により安定した雇用を創出する

- 第1次産業事業持続化応援金 6,870千円
R2.8.28～10.30 申請者89人（5～20万円）農産物5、畜産物2、林産物2、水産物2品目
- 第1次産業販売促進支援事業 6,318千円
R2.8.28～R3.3.31 申請16件（50万円、9/10以内）農業13、畜産2、水産1件
- 高収益作物次期作支援交付金 30,832千円（農林水産省）
売上減少の影響を受けた高収益作物について次期作に前向きに取り組む農業者を支援
R2年度実績 94件交付（80万円/10a、5.5万円/10a、2.2万円/10a）
※R3は国と高知県で実施
- 第2次産業事業持続化応援金 4,550千円
R2.9.1～9.30 35件交付（法人10～20万円、個人5～10万円）
- 第3次産業事業持続化応援金 66,300千円
R2.6.8～7.10 606件交付（法人10～20万円、個人5～10万円）
- 中小企業振興資金特別分 融資総額2億9,930万円
R2.5.15～R3.3.31 50事業者へ融資
- 商店街等活性化事業 18,793千円
R2.6.1～R3.3.31 28件交付（10～100万円、9/10以内）
- 販売力パワーアップ事業 22,645千円
R2.8.17～R3.3.31 58件交付（50～100万円、9/10以内）
- はた旅クーポン事業 23,184千円（市負担分）
R2.8.1～R3.1.31 市内換金状況：44,393枚、22,197千円（44,393枚×500円）
- 四万十市クーポン事業 88,763千円
R3.1.1～6.30 市内換金状況：令和2年度14,960枚、7,480千円
：令和3年度162,568枚、81,283千円
※1枚500円だが郷土博物館は440円で換金

- 四万十川自然体験強化事業 4,351千円
観光需要の回復のため屋外の新規体験型メニューを造成
- マイナンバーカード普及促進事業 88,412千円
カード受付期間：R3.1.4～3.31 地域振興券使用期間：R3.1.15～6.30（500円×10枚綴）
配布冊数：18,072冊（内WESTOSA:1,368冊）
換金枚数：176,823枚 換金金額：88,412千円（176,823枚×500円）

〔基本目標3〕若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

- 子育て世帯応援臨時特別給付金
R2.6.5～R3.3.31 申請2,631件、支給総額4,466万円（児童1人につき1万円）
- 妊婦特別給付金
R2.5.29～R2.8.24 妊婦149名、支給総額1,490万円（定額10万円）
- 地域子育て支援センター ICT 化推進事業《R3.8月～》
子育てに悩みを抱えながらもコロナ禍により外出できない方に対し、オンラインでの相談対応等を行うための環境を整備
- 保健活動環境整備事業《R3.10月～》
コロナ感染リスクを抑え、妊産婦の相談対応等の機能を維持するため、ネットを介して双方向のコミュニケーションができる環境を整備

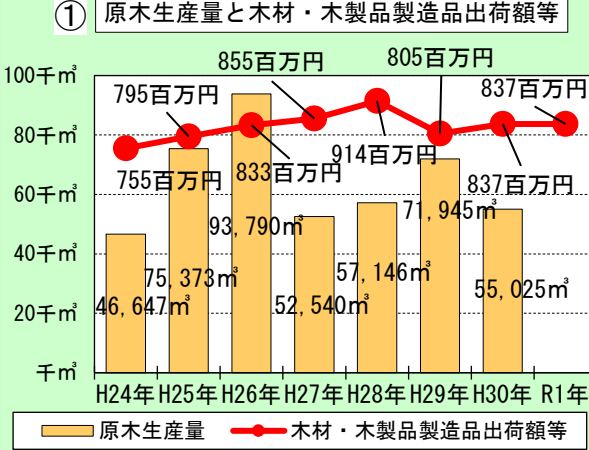
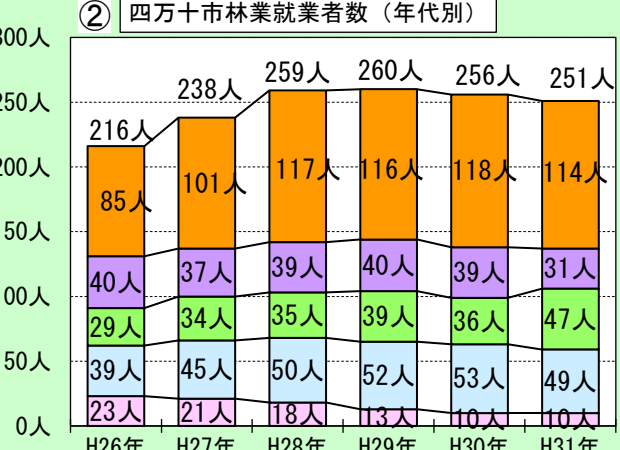
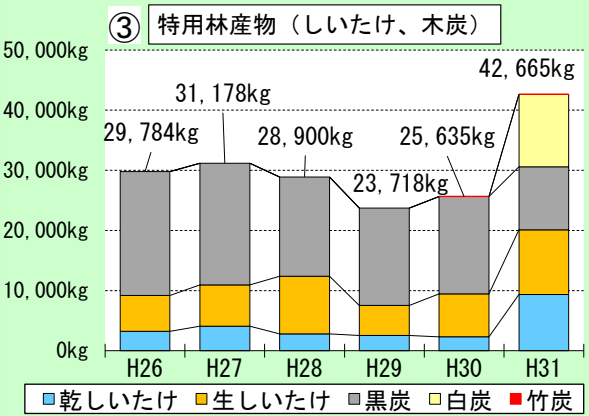
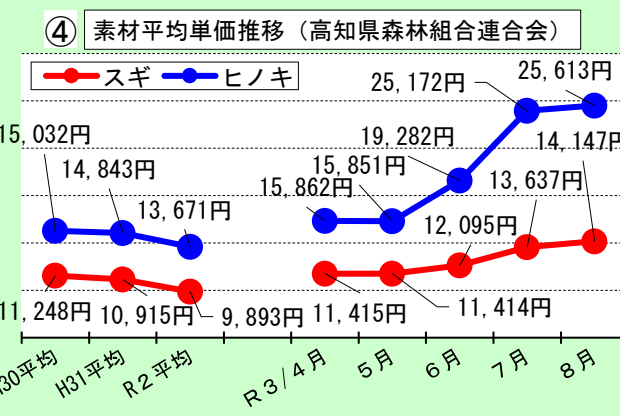
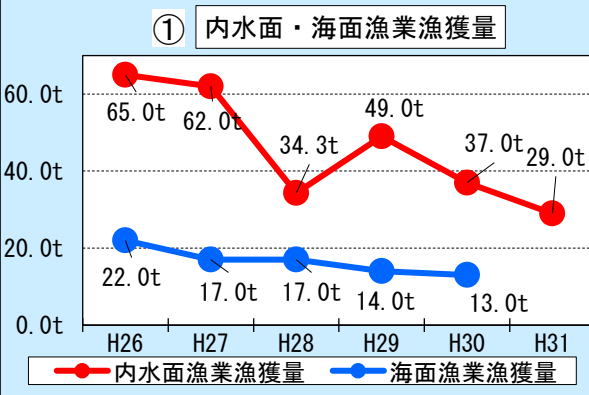
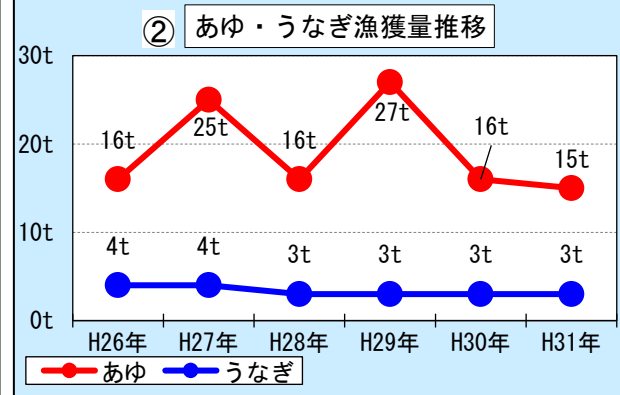
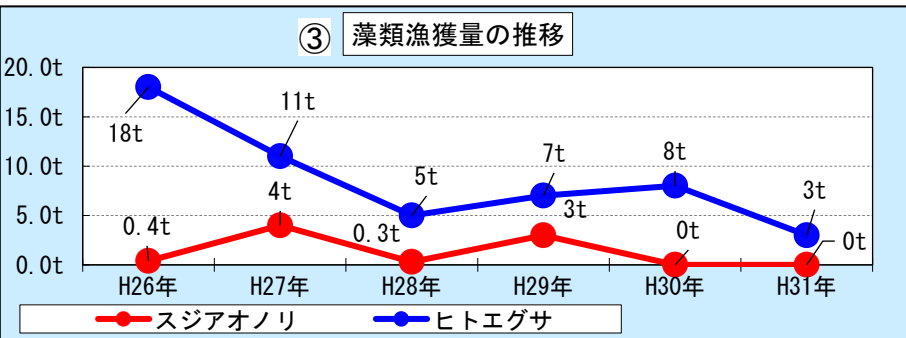
〔基本目標4〕地域に合った小さな拠点をつくり、まちとの連携により市民のくらしを守る

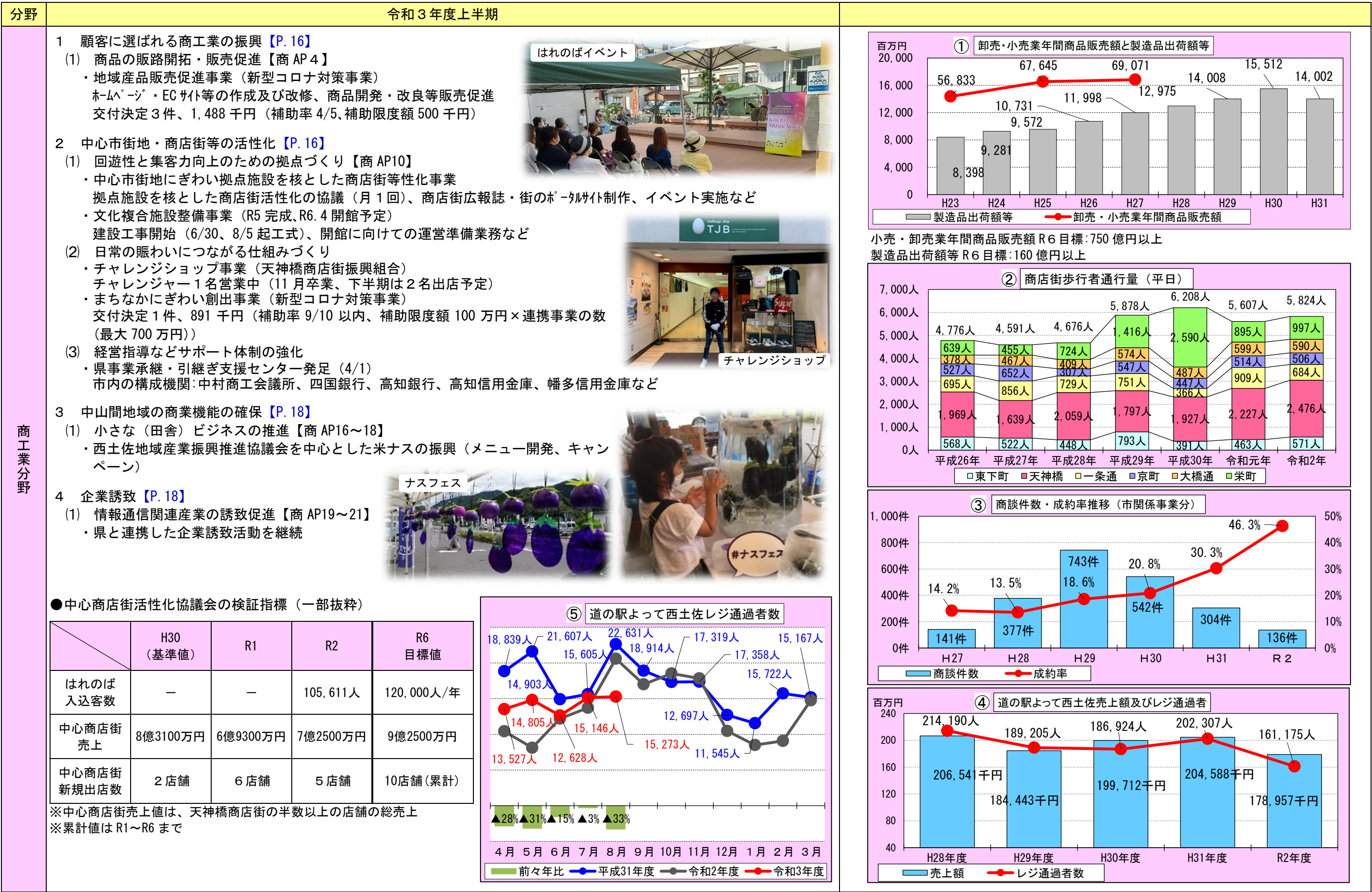
- 避難所感染拡大防止事業
R2.5.29～R2.7.9 指定避難所等に感染防止用品を整備
- デマンドバスキャッシュレス端末導入
R2.8.25～R2.9.30 中村まちバスへのキャッシュレス決裁端末導入
- 地域鉄道事業者運行支援
R2.11.24～R3.3.26 安全な運行確保に必要な修繕費を補助

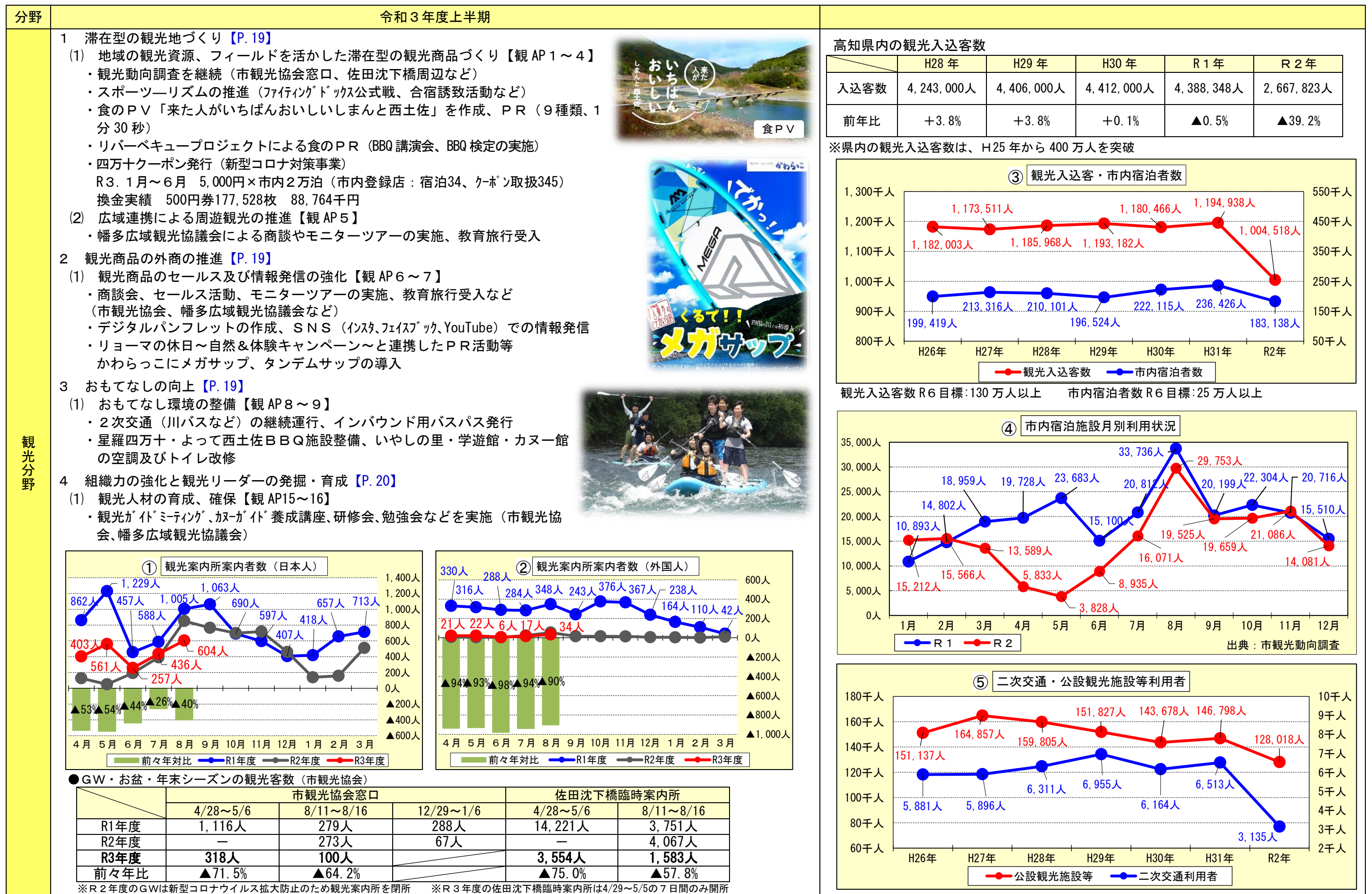
4 令和3年度上半期の主な取り組み（1/4）

●基本目標1『地産外商により安定した雇用を創出する』



分野	令和3年度上半期			
林業分野	1 四万十の山づくり【P. 11】 (1) 長期視点に立った産地づくり【林AP1～3】 ・提案型集約化施業の推進を継続 ・森林経営管理制度の運営（森林環境譲与税） 森林所有者意向調査準備業務453筆、意向調査業務278名、奥鴨川作業道開設360m (2) 林業事業体及び林業技術者の育成支援【林AP9】 ・緑の雇用事業活用（R3新規1名） ・林業担い手育成支援事業（森林環境譲与税） 緑の雇いで新規就業者を雇用する事業体を支援：6,480千円（60千円×12月×9名） (3) 兼業型林業事業者の育成支援林【林AP10】 ・原木増産推進事業（バックハウレンタル補助3名） (4) 自伐林家及び集落組織等の育成【林AP11】		 杉板プランク  文化複合施設市産材利用イメージ	
	2 供給体制の強化【P. 13】 (1) 木材・木工製品の生産の拡大・商品力強化【林AP12】 ・市産材の杉板プランクの製造、販売（リバーベキュープロジェクト） 3 市産材の利用促進と販売力の強化【P. 13】 (1) 木造住宅建築促進【林AP14】 ・市産材利用促進事業の継続（申請見込30件） (2) 市産材の利用促進及び情報発信の強化【林AP15】 ・文化複合施設整備の市産材利用予定量：762.83m³（丸太材積） (3) 四万十ヒノキブランドの確立【林AP18】 ・四万十ヒノキの家見学、宿泊体験 見学35名、宿泊延べ21組・107名（7月末現在） 4 健全な森づくり【P. 13】 (1) 鳥獣被害対策【林AP21】 ・有害鳥獣捕獲支援、防護ネット設置支援、新規狩猟者の受講料支援の継続		① 原木生産量と木材・木製品製造品出荷額等  原木生産量 R6目標：75,000 m³以上 木材・木製品製造品出荷額等 R6目標：9億円以上 ② 四万十市林業就業者数（年代別）  出典）高知県の森林・林業・木材産業 ③ 特用林産物（しいたけ、木炭）  ④ 素材平均単価推移（高知県森林組合連合会） 	
水産分野	1 水産資源の回復・生産量UP【P. 14】 (1) 天然水産資源の回復・増殖【水AP1～2】 ・スジアオノリ漁場整備（下流漁協） ・四万十川自然再生事業（国土交通省、四万十川自然再生協議会） アユの産卵場整備やモニタリング調査などを継続 (2) 栽培漁業等の推進【水AP3～5】 ・種苗放流の継続（西部、中央、下流漁協） アユ、うなぎ、アメゴ ・ヒトエグサ漁場環境調査（下流漁協） ・中土佐町川エビ養殖視察（3月）、室戸市スジアオノリ陸上養殖視察（5月） (3) 地域に根差した資源管理の仕組みづくり ・テナガエビ類の禁漁（9月～3月）継続、禁漁期間の周知 2 水産物の加工・販売促進【P. 15】 (1) 販売力の強化と販路拡大【水AP11～12】 ・活アユの豊洲市場出荷、四万十鮎ブランド化の取り組みを継続 ・がねパエリア、あゆパエリア販売開始（鮎市場） 3 水産資源を活用した交流の拡大【P. 15】 (1) 体験教室等の開催【水AP15】 ・川漁体験、四万十川ガキ体験、水辺の楽校の実施		 稚アユ放流  室戸市スジアオノリ陸上養殖施設  川ガキ体験  水辺の楽校	
			① 内水面・海面漁業漁獲量  内水面漁業漁獲量 R6目標：50 t以上 海面漁業漁獲量 R6目標：15 t以上 ② あゆ・うなぎ漁獲量推移  ③ 藻類漁獲量の推移 	





4 令和3年度上半期の主な取り組み (2/4)

●基本目標2『新しい人の流れをつくる』

4 令和3年度上半期の主な取り組み (3/4)

●基本目標3『若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる』



4 令和3年度上半期の主な取り組み（4/4）

●基本目標4『地域にあった小さな拠点をつくり、まちとの連携により市民の暮らしを守る』

施策		令和3年度上半期	K P I 等
(1) 地域におけるくらしの維持と創生	1 小さな拠点等の整備促進と活動支援【P. 32】	大川筋地域準備委員会 ラッピング列車「ウルトラトレイン」	① バス利用者数（地域間幹線除く）
	(1) 集落活動センターの整備促進と取り組みの支援		② J R 予土線利用者数
(2) 地域で支えあふ活動や取り組みの推進	2 中山間地域の生活支援【P. 32】	あったかふれあいセンター事業	③ 健康福祉委員会の組織率
	(1) 生活用品・生活水の確保		④ あったかふれあいセンター利用及び支援者数
(3) にぎわいのあるまちづくり	1 安全・安心に暮らすことができる災害に強いまちづくり【P. 35】	防災士による講習	⑤ 住宅耐震化率
	(1) 全戸訪問による住宅耐震化及び家具転倒防止対策の促進		⑥ 防災士の養成数
(4) 広域連携による魅力あふれる地域づくり	1 広域連携による取り組みの推進【P. 36】	バス車両更新	⑦ 土佐くろしお鉄道中村・宿毛線利用者数
	(1) 幡多地域定住自立圏の形成		⑧ バス利用者数（地域間幹線含む）

5 第2期総合戦略の改訂（案）

1 《K P I》の変更

No	評価指標	基準値	目標値（R6）	修正内容	戦略頁	修正理由
1	生活用水確保支援事業	—	R 3 までに 1 箇所	目標値（R 6） 【修正前】 R 3 までに 1 箇所 【修正後】 R 6 までに 4 箇所	P38	「生活用水確保支援事業計画」の計画延長により、新たに令和6年度までを計画期間とする整備計画を策定したため、目標値を修正するもの

2 《具体的な事業》の追加等

No	事業名	事業概要	戦略頁	改訂箇所
1	看護系4年制大学の誘致	圏域内に看護系4年制看護大学を誘致し、高度な知識や技術を習得できる教育機会の確保や進学先の選択肢の増加、看護人材の育成・確保とともに、若者の転出抑制、流入人口の拡大を図るもの。	P42	基本目標4 4) 広域連携による魅力ある地域づくり➤①広域連携による取り組みの推進

3 記載内容の変更等

No	戦略頁	改訂箇所	変更後	現行
1	P38	基本目標4 1) 地域におけるくらしの維持と創生 ➤②中山間地域の生活支援	《具体的な事業》 ・生活用品・生活水の確保（地域支援総合事業：現事業計画R6まで）	・生活用品・生活水の確保（地域支援総合事業：現事業計画R3まで）
2	P42	基本目標4 4) 広域連携による魅力あふれる地域づくり ➤①広域連携による取り組みの推進	《具体的な事業》 ・地域公共交通ネットワークの構築（土佐くろしお鉄道・生活バス路線等の維持、標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）の整備）	・地域公共交通ネットワークの構築（土佐くろしお鉄道・宿毛佐伯航路・生活バス路線等の維持、標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）の整備）